

両手いっぱい枝豆を
- 上小幡営農組合「枝豆まつり」 -

参加した子供たちもたわむれに実った枝豆を根っこごと上手に引き抜き、満足そうでした。



8月8日(日)、真壁町上小幡地区の畑で、今年も上小幡営農組合主催の「枝豆まつり」が開催されました。自分で畑から枝豆を引き抜いて、50cmのひも(300円で販売)に好きなだけ縛って持ち帰れます。来場者は、土で手を黒くしながらも、両手いっぱい枝豆を抱えていました。

今年、作付け面積を拡大したところ、600人以上が来場しました。枝豆のほかに、トウモロコシも作付けされており、収穫を楽しむ人や朝市で採りたて野菜を購入する人もいました。

黒こだまスイカ
`誘惑のひとみ、をPR

J.A北つくばこだま西瓜部会の皆さんが、山田副市長(写真左から3人目)と、橋本茨城県知事(写真中央)を訪れ、黒こだまスイカのPRを行いました。



J.A北つくばこだま西瓜部会の生産者の皆さんが、橋本茨城県知事を訪問し、黒こだまスイカ「誘惑のひとみ」の販売促進PRを行いました。

このスイカは、昨年からは本格的に販売を展開しており、表面が黒ずみ、糖度が13度前後と甘みが強く、身が詰まっていてシヤリシヤリ感がある、といった特徴があります。

生産者の皆さんは、知事との会談で「より一層努力して、消費者の方々に美味しいスイカを提供していきたい。」と意欲を燃やしていました。

北学校給食センターで
「きゅうしょくセンター調べ隊」

センター職員にメロンパンの作り方を教わりながら、児童たちは大好きなメロンパンを完成させました。



市立北学校給食センターに「きゅうしょくセンター調べ隊」が訪れ、施設見学や調理体験などをしました。

これは、岩瀬地区の小学生を対象に、毎日食べている学校給食がどのように作られているのか、また、施設に働いている人と直接触れ合い、衛生面や栄養についてなどを学ぶため、同センターが実施したものです。

参加した40組の親子は、エプロン・バンダナを身に付け、自分で調理したメロンパンや野菜スープなどを岩瀬小学校の教室で昼食としていただきました。

交通安全子供自転車
全国大会に真壁小が出場

東京ビックサイトで開催された全国大会に出場した真壁小学校選手たちの皆さん



7月1日(木)、ひたちなか市総合運動公園総合体育館で「第47回交通安全子供自転車茨城県大会」が開催され、見事に真壁小学校が優勝しました。

この大会は、自転車競技を通じて、児童が交通安全知識を身につけることにより交通事故防止を図ろうと毎年実施されています。

同校は、県大会優勝により、8月5日(木)、東京ビックサイトで開催された全国大会まで駒を進めました。残念ながら上位入賞は逃しましたが、持てる力を十分発揮しました。

青木地区 農産物直売所「ことぶき」
から市の福祉事業に寄付

「市の福祉事業のために」と市長に寄付金を手渡す栗崎よしのさんの夫、栗崎さん(写真:中央)と鈴木福司さん(写真:右)



青木地区の農産物直売所「ことぶき」(栗崎よしのの代表)から、「市の福祉事業に役立てて欲しい」と、寄付金をいただきました。

同直売所は、以前にも社会福祉協議会などへの寄付も行っており、今回で3回目。主に地元青木地区の高齢者の方が生産した野菜などを、直売所で販売した手数料の一部から寄付されたものです。

「現在、直売所は都合でお休みしておりますが、できたら今後も市のお役に立ちたい」と栗崎さんは話していました。

真壁・大和たばこ販売組合
女性部がクリーン作戦

吸い殻の落ちていないきれいな街を願った、真壁・大和たばこ販売組合女性部の皆さん



愛煙家に喫煙のマナーを守ってもらおうと、真壁・大和たばこ販売組合女性部の皆さん14人が、JRやまもと駅周辺でクリーン作戦を行いました。

これは、同女性部が吸殻の落ちていないきれいな街を願って、毎年実施しているものです。

約1時間の作業で、たばこの吸殻や空き缶などが拾われ、駅周辺はきれいになりました。

駅利用者の皆さん、桜川市の玄関口としての駅を気持ちよく利用していくために、吸殻・ゴミは決められた場所に捨てるようにしましょう。

1本のヤマユリから
75の花が咲いた

安達さん宅の庭先で、たくさん花を付けたヤマユリの花(7月16日撮影)



大國玉地区で酪農業を営む安達弘弘さん宅の庭先で、1本のヤマユリから、つぼみを含め75の花が咲きました。

このヤマユリは、安達さん宅の奥様が3年前、市内の山から球根を採取し、自宅の傍らに植えたものです。

特別な手入れはしていませんが、球根から芽が出て、やがて2股(幹2本)に分かれ、今年はその片方に、たくさんつぼみが付きましました。

ヤマユリは、背丈2.5メートルほどに成長し、平べったい幹には、らせん状にたくさん花を咲かせていました。

谷貝小学校で
地区コミュニティスクール開催

上級生は下級生の面倒を見ながら、校庭にテントを張り、1泊2日の共同生活をしました。



谷貝小学校グラウンドを会場に「サマーキャンプ みんなで泊まろう!」と題して、谷貝地区コミュニティスクールが開催されました。

これは、子供たちの「生きる力」を育むために、地域と学校が一体となって様々な体験の機会を提供することを目的に実施されたもので、今回で6回目。

当日は、約100人の子供たちが参加し、校庭にテントを張って宿泊。保護者などと一緒、流しそうめん、キャンプファイアなどで楽しい時間を過ごしました。